

かこさとし氏
が表紙絵を
寄贈!

放課後の時間が育む子どもの成長が1冊に! —「子どもたちの物語 エピソード2」完成—

特定非営利活動法人放課後NPOアフタースクールは、小学生の成長を収めたエピソード集「子どもたちの物語」をこの春新たに作成いたしました。

小学生の放課後の居場所作りに取り組む当団体が、日々子どもたちに正面から向き合い、見守る中で目にする様々な成長シーンを大切に紡いだ作品となっています。放課後の過ごし方に大人の都合が優先される今、子どもが望む本当の放課後の姿がこの本から見えてくることを願っています。

■□■「子どもたちの物語」とは ～放課後の時間ならではの成長エピソード～ ■□■

放課後の時間は長期休暇も含めると、学校生活の時間より長いと言われています。(低学年の場合:学校で過ごす時間は年間1,218時間。長期休暇を含む放課後の時間は年間1,633時間 / 2016年全国学童保育連絡協議会調べ)

放課後ならではの経験である「苦手を克服した」「好きなことを見つけた」「はじめて友達ができた」など数え切れない程のエピソードを、日々彼らの成長に寄り添うアフタースクールスタッフが1冊の本にまとめました。 私たちが培ってきた子どもたちとの宝物のような物語が、全国で放課後の居場所に悩む子育て世帯や地域の方々のお役に立てればと思っています。ぜひ、この物語を広く世の中に発信すべく、ご取材の機会をいただけますと幸いです。

「お友達の作り方」

1年生の男の子で、お友達との関わりがうまくいかない子がいます。(中略)自分が嫌なことをされるとすぐに先生に言うのでお友達も一緒に遊びたくなくなります。その結果、遊ぶ子がいなくなってしまう、つらなく感じるようになりました。(中略)この子が最初にとったアクションは、まず名前を聞くことでした。自分が友達の名前を覚えられず、「お前」と言ってしまうことも相手も傷つけているのだなと感じてくれました。

それからしばらくすると……。 (続く)



「縦の繋がり」

(前略)一番驚いたのは、上級生がハンデをつけてドッジボールをしている姿でした。「1年生が勝てないのは面白くないから」と言った上級生の姿に感動しました。(中略)普段は違う学年で授業を受けて、違うクラスで過ごしている子どもたちが、放課後の時間は一緒に過ごし、幅広い繋がりを持っています。この繋がりか…

(続く)



山脇百合子氏表紙: エピソード1 (2015年)



かこさとし氏表紙: エピソード2 (2018年)

子どもたちの健やかな成長のために～放課後改革に挑戦～

昨今、学童保育の不足が社会課題として深刻化。子どもにとっての学びある豊かな時間が保証されていない現代の放課後は、子どもたちのチャレンジ意欲や自己肯定感を低下させています。

私たちは、学校施設を活用し、地域の大人＝「市民先生」と共に本物の技や知恵を子どもたちに届けるアフタースクールを展開。また、様々な企業等と協業し、社会全体で子どもを育てることに挑戦しています。(年間のべ15万人以上の子どもが活動に参加) アフタースクール開校数:18校/連携企業100社以上/市民先生4000人以上

アフタースクール、全国で! **放課後NPO** アフタースクール

本件に関するお問い合わせ先

特定非営利活動法人
放課後 NPO アフタースクール
本部事務局 / 広報 (佐藤)

TEL: 03-6721-5043

MAIL: info@npoafterschool.org